

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる」「できる」喜びを感じることで国語学習への意欲を高め、自ら課題を見つけ、追求する態度を育てる。 ・国語科の3つの観点に関わる力を育てる。
評価の観点	(知識及び技能)・社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。学年相当の漢字や語彙を理解し、活用することができる。
	(思考力、判断力、表現力等)・自分の意志や考えをまとめ伝達することができる。相手と円滑なコミュニケーションを進めることができる。
	(主体的に学びに向かう態度)・考えたことや調べたことなどをまとめて表現する活動において、適切に自己表現したり、相手に伝えたりするため、語彙を豊かにするなど、粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。

時期	単元	学習内容	観点	学習目標 (評価規準)	評価場面・方法
4 ・ 5 月	風の五線譜	<input type="checkbox"/> 詩の意味を捉えて音読する。 <input type="checkbox"/> 班で詩の読み方を考え、発表する。	[知技] (1)オ [思判表] C (1)イ	・詩に描かれた情景や心情などについて、描写をもとに捉えている。	[評価物] <input type="checkbox"/> 定期考査 <input type="checkbox"/> 授業姿勢 <input type="checkbox"/> 授業中の活動 <input type="checkbox"/> 提出物
	話し方はどうか	<input type="checkbox"/> 本文を音読し、話の表情について考え、意見をまとめる。	[知技] (1)ウ [思判表] A (1)ウ、C(1)イ	・相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	
	漢字の部首	<input type="checkbox"/> 部首とその意味、形と部首名について理解し、漢字を文や文書の中で使う。	[知技] (1)イ	・漢字の部首とその意味について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。	
	詩の心 一発見の喜び	<input type="checkbox"/> 三編の詩について内容を捉え、音読・暗唱して読み味わい、内容を理解する。 <input type="checkbox"/> 詩を鑑賞し、表現の工夫などについて考える。	[知技] (1)ウ オ [思判表] C (1)ウエ	・目的に応じて場面と描写などを結び付け、内容を解釈している。 ・詩の構成や表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	
	文法とは・言葉の単位	<input type="checkbox"/> 副教材「すらすら基本文法」を使用し、文節や単語などの言葉の単位について問題に取り組む。	[知技] (1)エ	・言葉の単位について理解している。	
	飛べ かもめ	<input type="checkbox"/> 場面の様子や登場人物の思いに着目し、作品を読み深める。 <input type="checkbox"/> 作品から読み取ったことをもとに、想像したことをまとめる。	[知技] C(1)ウC [思判表] (1)イオ [活] C 2イ]	・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	
6 月	さんちき	<input type="checkbox"/> 場面の様子や登場人物の思いに着目し、三吉と親方の思いを捉える。	[知技] (1)ウ [思判表] C (1)イオ	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	
	文の成分	<input type="checkbox"/> 副教材「すらすら基本文法」を併用して問題に取り組む。	[知技] (1)エ	・文を構成している成分について理解している。	
7 月	オオカミを見る目	<input type="checkbox"/> 文章の構成を捉え、内容を読み取り、段落の役割や関係について理解する。	[知技] (1)ウエ、(2)アイ [思判表] C (1)アエ [活] C 2ア]	・文章の中心的部分と付加的部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	
	毛筆	<input type="checkbox"/> 楷書の手本をよく見て一画ずつしっかりと毛筆で書く。	[知技] (3)エ	・字形を整え、文字の大きさや配列などについて理解して書いている。	
	碑	<input type="checkbox"/> 「碑」全文を通読し、最も印象に残ったところについて感想を書き、意見を交流する。	[知技] (3)オ [思判表] C (1)オ [活] C 2ウ]	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	
8 ・ 9 月	中心を明確にして話そうースピーチ	<input type="checkbox"/> 話の中心を明確にし、事実と考えとの関係に注意して、構成を考える。 <input type="checkbox"/> 聞き手の反応を見ながら、分かりやすい話し方を工夫する。	[知技] (1)ウ (2)アイ [思判表] A (1)イウ	・自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と考えとの関係などに注意して、話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	

	私のタンポポ研究	<input type="checkbox"/> 事実から筆者がどのように考えを導いているかを捉える。 <input type="checkbox"/> 必要な情報を取り出して要約する。	[知技] C(1)ウ (2)アイ [思判表] C(1)アウ [活] C 2ア	・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と考えとの関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ・目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。
	根拠を挙げて考えを述べる	<input type="checkbox"/> 考えと根拠との関係を理解し、根拠を明確にして文章を書く。	[知技] (2)ア [思判表] B(1)ウ	・考えと根拠との関係について理解している。 ・根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。
	名詞	<input type="checkbox"/> 副教材「すらすら基本文法」を使用し、名詞の種類について理解し問題に取り組む。	[知技] (1)エ	・名詞の種類について理解している。
10月	連体詞、副詞、	<input type="checkbox"/> 副教材「すらすら基本文法」を使用し、連体詞・副詞について理解し問題に取り組む。	[知技] (1)エ	・連体詞、副詞のそれぞれの働きについて理解している。
	接続詞、感動詞	<input type="checkbox"/> 副教材「すらすら基本文法」を使用し、接続詞・感動詞について理解し問題に取り組む。	[知技] (1)エ	・接続詞、感動詞のそれぞれの働きについて理解している。
	伊曾保物語	<input type="checkbox"/> 歴史的仮名遣いに注意して読み、内容を大まかにつかむ。	[知技] (3)ア [思判表] C(1)エ	・音読に必要な文語の決まりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。
11月	矛盾	<input type="checkbox"/> 音読を通して漢文のリズムに慣れ、「矛盾」の故事の内容を正確に読み取る。 <input type="checkbox"/> 他の故事成語の意味や由来を調べる。	[知技] (3)ア [思判表] B(1)ア, C(1)エ	・音読に必要な訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ・目的や意図に応じて題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。
	ニュースの見方を考えよう	◇ニュースの見方について筆者の考えを読み取り、ニュースの見方を考える。	[知技] (1)ウ, (2)イ [思判表] B(1)ア, C(1)オ [活] C 2ア	・目的や意図に応じて材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。
	調べて分かったことを伝えよう「レポート」	<input type="checkbox"/> 調べて分かった事実や自分の考えがよく伝わるように、わかりやすい構成でレポートを書く。	[知技] (2)ア, ウ [思判表] B(1)ア, イ	・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。
12月	竹取物語	<input type="checkbox"/> 音読・暗唱を通して古文を読み味わう。 <input type="checkbox"/> 文章の展開に即して、登場人物の心情を読み取る。	[知技] (3)ア [思判表] C(1)オ	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。
1月	少年の日の思い出	<input type="checkbox"/> 場面の展開を捉える。 <input type="checkbox"/> 人物や情景を描いた表現に着目して作品を読み深め、主人公の変化する思いを捉える。	[知技] (1)ウ [思判表] C(1)ウエ [活] (2)イ	・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。
	案内や報告の文章を書こう	<input type="checkbox"/> 伝える相手や目的に応じて、必要な情報を選び出してまとめる。	[思判表] B(1)ア [活] B (2)イ	・目的や意図に応じて材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。
2月	トロッコ	<input type="checkbox"/> さまざまな情景の描写がどのような効果をあげているか、感想や考えを述べる。 <input type="checkbox"/> 文章の展開に即して、登場人物の心情を読み取る。	[思判表] C(1)エ [活] C (2)イ	・表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。
	月夜の浜辺	<input type="checkbox"/> 詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	[知技] (1)オ [思判表] C(1)イ	・場面の展開や人物の心情などについて、描写をもとに捉えている。
3月	心に残る出来事を表現しよう	<input type="checkbox"/> 日常生活の中から題材を決め、伝えたい出来事と思いを明確にする。	[知技] (1)ウオ [思判表] B(1)アウ	・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。

2024年度 1年生 年間指導計画 【社会】

教科の目標	<p>【地理的分野】 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>【歴史的分野】 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p>
評価の観点	<p>①(知識・技能) わが国の国土、および世界の諸地域に関して、地域の諸事情や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②(思考・判断・表現) 地理的事象から課題を見出し日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。 歴史的事象から課題を見出し、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③(主体的に学びに向かう態度) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
評価資料	定期テスト、提出物、授業プリント、小テストなど

時期	単元	学習内容	観点	学習目標 (評価規準)	評価場面・方法	備考
4月～5月半	世界と日本の地域構成	世界の姿 ・国の位置 ・緯度経度 ・地球儀、世界地図 日本の姿 ・日本の位置 ・時差 ・領域 ・都道府県	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学びに向かう態度	①世界の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追求しとらえようとしている。 ③世界の地域構成を緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などをもとに、多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現している。 ②地球儀や世界地図などの、世界の地域構成に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ①世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身につけている。 ②世界的な視野から見た日本の位置の特色を理解している。 ②なぜ世界各国で標準時が決められているのか、時差の計算はどのような時に役立つかを国際化した生活場面と関連づけて捉えている。 ①標準時と時差の仕組みを理解し、時差を正しく計算している。 ①竹島、北方領土、尖閣諸島の地図上の位置について、知識を身につけている。 また各国の主張を表に整理し、対立や論点を理解している。 ②これらの島へのアクセスが困難な理由を資料から考察し、共通点や相違点を表現している。 ②都道府県や県庁所在地の名称と位置を地図上で身につけている。 ③都道府県の境界や現在に残る昔の地名・旧国名について、地図や資料を使って意欲的に調べている。	授業参加とふりかえり 提出物 定期考査	

5月半～7月	歴史の流れと時代区分	時代区分	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学びに向かう態度	①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	授業参加とふりかえり 提出物 定期考査 夏休みの課題	
--------	------------	------	--------------------------------------	--	-------------------------------------	--

	四大文明	人類の登場から文明の発生へ		<p>③過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"①世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成され、天皇や貴族の政治が展開したことを理解し、身につけている。</p> <p>①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。</p> <p>①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、ヤマト王権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解している。</p> <p>①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。</p> <p>①仏教の伝来とその影響、かな文字の成立などを基に、国際的な要素を持った文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。</p> <p>②古代文明や宗教がおこった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>		
8月～12月	世界各地の人々の生活と環境	世界諸地域でくらす人々の生活様式 人々の生活に根ざす宗教 伝統的な生活と その変化 アジア・ヨーロッパ・アメリカ・南北アメリカ・オセアニア州		<p>③世界各地の人々の生活と環境の多様性について、意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>②世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的・社会的条件と関連付け自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程と結果を適切に表現している。</p> <p>②世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する写真や統計資料、文献などの様々な資料から、生活と環境の多様性について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>①世界の人々の生活や環境が多様で、その暮らしが変化していくのは、自然的条件や社会的条件によることを理解している</p> <p>③世界の諸地域の様々な地理的事象を見だし、地域的特色に対する関心を高めている。</p> <p>②世界の諸地域の地域的特色が、それぞれ世界的視野から見てどのような地域的特色なのか、一般的共通性と地方的特殊性の視点から追究し、とらえている。</p> <p>②収集した資料から、世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>③世界の諸地域の様々な地理的事象を見だし、地域的特色に対する関心を高めている。</p> <p>②世界の諸地域の地域的特色が、それぞれ世界的視野から見てどのような地域的特色なのか、一般的共通性と地方的特殊性の視点から追究し、とらえている。</p> <p>②収集した資料から、世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>①世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などについて概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けている。</p>		
12月～3月	武家政権の成長と東アジア 武家政権の内と外	武士の世の始まり 武家政権の内と外 人々の結びつきが強まる社会 元寇 鎌倉幕府の滅亡	<p>①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学びに向かう態度</p>	<p>①鎌倉幕府の成立により、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広がったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②武士の政治への進出と政治の展開、貴族の政治との違いに着目して、武家政権の特徴を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③武家政権の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p> <p>①蒙古襲来が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などの知識を基に、武家政治が東アジア世界と密接な関わりを持ちながら展開していったことを理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p>	授業参加とふりかえり 提出物 定期考査 冬休みの課題	

	<p>人々の結び付きが強まる社会</p>	<p>一揆 産業の発達</p>	<p>る。</p> <p>②蒙古襲来をモンゴル帝国の拡大の一環としてとらえるとともに、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察し、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p> <p>①農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会の変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>②室町時代に農業や商工業が発達した理由や、民衆の成長が社会に与えた影響を、生産力の高まりと交通の発達に着目して考察し、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。"</p>		
--	----------------------	---------------------	--	--	--

2023年度 1年生 年間指導計画 【数学】

教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数量，図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め，数学的な表現や処理の仕方を習得する。 ・事象を数理的に考察する能力を高めるとともに，数学的活動の楽しさ，数学的な見方や考え方のよさを知り，それらを進んで活用する態度を育てる。
評価の観点	<p>知識・技能</p> <p>数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し，知識を習得している。また，事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を習得している。</p>
	<p>思考・判断・表現</p> <p>事象を数学的にとらえて論理的に課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力などを身に付けている。</p>
	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>数学的な事象に関心をもつとともに，数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し，粘り強い取り組みを行おうとしている側面がある。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとする側面がある。</p>

時期	単元	学習内容	学習目標（評価規準）	評価
1 学 期	正負の数	<ul style="list-style-type: none"> ・整数の性質 ・正負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・正負の数の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然数・素数の意味を知る。素因数分解の方法を学ぶ。 ・正負の数が利用されている身近な例を見つける。 ・0が量の基準を表していることを理解し，決めた基準より大きい小さいかを正負の数を用いて表すことができる。 ・正負の数の大小関係を不等号を用いて表したり，数直線上に表したりすることができる。 ・絶対値の意味を理解し，正負の数の大小関係を判断することができる。 ・正負の数の加減乗除の意味を理解し，加減乗除の計算ができる。 ・結合法則や交換法則を利用し，正負の数の加法や乗法，四則の混じった計算ができる。 ・同じ数の積を累乗の指数を用いて表すことができ，その計算ができる。 ・分配法則を利用して正負の数の計算を行うことができる。 ・身のまわりの問題を，正負の数を利用して解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業姿勢 ・授業ノート ・ふりかえり ・問題集 ・演習プリント ・定期考査
	文字と式	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式 ・文字式の計算 ・文字式の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を使うことの必要性和意味を理解し，具体的な数量を文字を用いて表そうとする。 ・文字式での積の表し方，累乗や商の表し方を理解し，式に表すことができる。 ・単位の異なる数量どうしの和や差を，単位をそろえた式に表すことができる。 ・割合や速さに関する数量を，文字を使った式で表すことができる。また，それを読みとることができる。 ・文字に数を代入することや式の値の意味を理解し，式の値を求めることができる。 ・項と係数の意味を理解し，文字の部分が同じ項を1つの項にまとめることができる。 ・1次式の加法，減法の計算ができる。 ・1次式と数の乗法の計算ができる。 ・1次式と数の除法の計算ができる。 ・1次式のいろいろな計算ができる。 ・いろいろな整数を文字を用いた式で表したり，式が表す数を読みとったりすることができる。 	
2 学 期	方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式とその解き方 ・1次方程式の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式とその解の意味を理解し，文字に値を代入して方程式の解を求めることができる。 ・数量の間の関係を等式で表すことができる。 ・等式の性質や移項の考え方を使得いろいろな方程式が解ける。方程式を使って問題を解く手順を理解する。 ・かっこを含む方程式や係数に小数・分数を含む方程式を解くことができる。 ・具体的な問題を，方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 ・個数と代金に関する問題，過不足に関する問題，速さ・時間・道のりに関する問題を方程式を利用して解決することができる。 ・比例式の性質を知り，その性質を利用して文字の値を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業姿勢 ・授業ノート ・ふりかえり ・問題集 ・演習プリント ・定期考査 ・夏休みの課題

	比例と反比例	<ul style="list-style-type: none"> 関数と比例・反比例 比例の性質と調べ方 反比例の性質と調べ方 比例と反比例の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中の変化する2つの量から比例や反比例の関係を見だし、式やグラフで表そうとする。 算数で学習した比例や反比例の性質やグラフの特徴を振り返る。 具体的な事象の問題を比例や反比例の考えを利用して解決しようとする。 具体的な事象の問題を、比例や反比例の考えを利用して解くことができる。 比例や反比例の関係を式で表すことができる。 平面上の点の座標を求めたり、2つの数の組の値を平面上の点で表したりすることができる。 比例や反比例、比例定数の意味が理解でき、具体的な場面で適切に使うことができる。 変数、変域などの用語を適切に用いることができる。 座標に関する用語の意味を理解し、それらを正しく用いることができる。 身のまわりの問題を比例や反比例を利用して解決することができる。 	
	平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 図形の移動 基本の作図 おうぎ形 	<ul style="list-style-type: none"> しきつめ模様の特徴を図形の移動の見方で捉えたりすることができる。 平行移動、回転移動、対称移動の意味とその性質を理解することができる。 対称の軸、対称の中心の意味が理解できる。 2つの合同な図形の間隔を移動の見方で捉え、説明することができる。 直線、線分、半直線の違いを考えて書くことができる。 作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。 垂線、垂直二等分線、角の二等分線の作図ができる。 基本的な作図を利用して、円の接線やいろいろな条件をみたす図形を作図することができる。 平面図形に関することが記号を用いて表すことができる。 おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 	
3学期	空間図形	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな立体 立体の見方と調べ方 立体の表面積と体積 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある立体を観察し、空間図形に興味関心を持つ。 合同な図形を使って正多面体を作ることに関心を持ち、作った立体を考察しようとする。 正多面体について、面・辺・頂点の数を調べることができる。 角柱、角錐、円柱、円錐の意味が理解できる。 平面と平面、直線と平面の平行や垂直を直方体などの立体を使って考察し、その位置関係が理解できる。 ねじれの位置の関係にあるということが理解できる。 空間図形を平面図形の空間における移動や回転の結果としてとらえることができる。 回転体の意味とその性質が理解できる。 立体の表面積、側面積、底面積の意味が理解でき、それらを計算で求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業姿勢 授業ノート ふりかえり 問題集 演習プリント 定期考査 冬休みの課題
	データの分析と活用	<ul style="list-style-type: none"> データの整理と分析 データの活用 ことからの起こりやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> データを度数分布表やヒストグラムに表し、分布の特徴を読みとり、説明することができる。 相対度数の必要性和意味を理解し、2つのデータを相対度数の折れ線に表して、分布を比較し、説明することができる。 代表値や範囲を用いてデータの分布の傾向を読みとり、説明することができる。 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読みとり、批判的に考察し判断することができる。 不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や思考の回数に着目して考え、説明することができる。 	

<p>教科の目標</p>	<p>①子どもたちを見つめて 1、自然の事物・現象への興味・関心を高め、身の回りの自然現象を科学的に理解できるようにする。 2、実験や観察を目的意識をもって行い、過程や結論について「考える時間」を作り、考えようとする姿勢を習慣付ける。 3、提出物の評価を緻密に行うことで、学習意欲をもたせ、基礎・基本の定着をはかる。 ②理科を通じて 1、自然の事物・現象に関心を持ち、その規則性を発見する力を育てる。 2、自然を調べる方法を学ぶことにより、科学的なものの見方や考え方を身に付ける。 3、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら問題を解決する方法を養う。(生きる力の育成) ③私たちの手だて 生徒達が、授業に参加しているという実感を持てるような工夫をし、結果としてよくわかったと思える授業を創造していきたい。 1、授業を工夫して、自然の現象や現象に興味をもたせる。 2、考える、また考えたことを表現する(書く・発表するなど)時間を確保する。 3、実物、具体物をできるだけ多く準備する。 4、日常生活や、身近な題材に関連付ける。 5、総合的に学習し、他面的、総合的な見方を育てるの一助として、マルチメディア教材の活用をする。 6、導入されたタブレットを使った授業を行う。</p>
<p>評価の観点</p>	<p>知識・技能 自然事象や物理現象に対してついて正しく理解できる。また、観察や実験を目的を持って意欲的に行う。 思考・判断・表現 データや事実にもとづき、科学的に考えようとする。自然現象や物理現象について正しく説明できる。 主体的に学習に取り組む態度 自然事象や物理現象に対して関心を持ち、意欲的に考えようとする。</p>
<p>評価資料</p>	<p>定期テスト・提出物など</p>

配当月	単元	学習内容	観点	学習目標(評価規準)	評価場面・方法
4月	自然の中にあふれる生命(9)	単元導入(1), 学ぶ前にトライ! 1章 植物の特徴と分類(7)	知識・技能	いろいろな植物や動物の共通点と相違点に着目しながら、植物や動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	行動観察 発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど
5月	[単元1] いろいろな生物とその共通点(18~19)	2章 動物の特徴と分類(9) 力だめし, 学んだ後にリトライ!(1)	思考・判断・表現	植物や動物の体の共通点と相違点についての観察, 実験などを通して, いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに, 植物や動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。	発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど
6月		単元末問題(1)	主体的に学習に取り組む態度	植物や動物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	行動観察 発言・発表 自己評価 提出物 レポート 授業プリントなど
7月		単元導入(1), 学ぶ前にトライ! 1章 いろいろな物質とその性質(7)	知識・技能	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら, ①身のまわりの物質の性質, ②気体の発生とその性質③水溶液について④状態変化と熱, 物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている	行動観察 発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど
8月		2章 いろいろな気体とその性質(5) 3章 水溶液の性質(6)	思考・判断・表現	①物質のすがた②気体のすがた③水溶液④状態変化のそれぞれについて, 問題を見いだし見通しをもって観察, 実験などを行い, 物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。	発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど
9月	[単元2] 身のまわりの物質(26~28)	4章 物質のすがたとその変化(6) 力だめし, 学んだ後にリトライ!(1) 古くて新しいガラスの世界 単元末問題(1)	主体的に学習に取り組む態度	物質のすがた, 水溶液や状態変化に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。	行動観察 発言・発表 自己評価 提出物 レポート 授業プリントなど
10月					

11月		<p>単元導入 (1), 学ぶ前にトライ!</p> <p>1章 光による現象 (8)</p>	知識・技能	<p>①光②音③力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら, ①光の反射や屈折, 凸レンズのはたらき②音の性質③力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている</p>	<p>行動観察 発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど</p>
12月	<p>[単元3] 光・音・力による現象 (24~25)</p>	<p>2章 音による現象 (5)</p> <p>3章 力による現象 (9)</p> <p>力だめし, 学んだ後にリトライ! (1) 自動運転を支える光と音の科学</p>	思考・判断・表現	<p>①光②音③力のはたらきについて問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, ①光の反射や屈折, 凸レンズのはたらき②音の性質③力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。</p>	<p>発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど</p>
			主体的に学習に取り組む態度	<p>①光②音③力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	<p>行動観察 発言・発表 自己評価 提出物 レポート 授業プリントなど</p>
1月		<p>単元導入 (1), 学ぶ前にトライ!</p> <p>1章 身近な大地 (3)</p>	知識・技能	<p>大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら, ①身近な地形や地層, 岩石の観察②地震の伝わり方と地球内部のはたらき③火山活動と火成岩④地層の重なりと過去のようす, 自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p>	<p>行動観察 発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど</p>
2月	<p>[単元4] 活きている地球 (22~24)</p>	<p>2章 ゆれる大地 (4)</p> <p>3章 火をふく大地 (7)</p>	思考・判断・表現	<p>①身近な地形や地層, 岩石の観察②地震③火山④地層の重なりと過去のようす, 自然の恵みと火山災害・地震災害について, 問題を見だし見通しをもって観察, 実験などを行い, 地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど, 科学的に探究している。</p>	<p>発言・発表 レポート 授業プリント 提出物 小テスト 定期テストなど</p>
3月		<p>4章 語る大地 (6)</p> <p>力だめし, 学んだ後にリトライ! (1) 昔の地球を読みとく時空の旅へ</p>	主体的に学習に取り組む態度	<p>①身近な地形や地層, 岩石の観察②地震③火山④地層の重なりと過去のようす, 自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	<p>行動観察 発言・発表 自己評価 提出物 レポート 授業プリントなど</p>

教科の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。
評価の観点	知識・技能 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。
	思考・判断・表現 外国語を用いて、その場面に応じて、話す・聞く・読む・書くなどの言語活動を積極的に行い、自分の考えや思いなどを表現し合っている。
	主体的に学びに向かう態度 外国語に関心を持ち、自分自身の目標達成に向けて積極的に取り組んでいる。

月	単元・教材名等	活動目標・到達目標	言語の使用場面	言語の働き	主な言語材料	時数(計100)	小学校との対応※
4月	Let's Be Friends!	①[L][SI]言葉で人とつながろう	学校	相づち	気持ちや状態を表す語	1	3-4年 Unit 6 5年 Unit 1, 2, 3, 6 5-6年 Let's Start, Sounds and Letters
		②[L][SI][W]好きなものでつながろう	学校	相づち, 質問	色を表す語	1	
		③[L][SI][W]世界のどこかへ行ってみよう	学校	質問	国の名前	1	
		④[L][R][SI]数字を聞いて動物を探し出そう			数を表す語	1	
		⑤[L][SI][W]誕生日をたずね合おう	家庭	質問	日付や月を表す語	1	
		⑥[L][W]アルファベットを聞いて書こう			アルファベット	1	
		⑦[L][SI][W]英語の音とつづりを確かめよう			英語の音とつづり	1	
5月	Unit 1 Here We Go!	[L]会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 [W]自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。	自己紹介	相づち, 礼を言う, 質問, 褒める, 発表	I am ~. I like ~. / I don't like ~. I can ~. / I can't ~.	8	3年 Unit 4 5年 Unit 1, 5 6年 Unit 1
	Daily Life 1 国際郵便	[W]海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。			ローマ字	1	5年 Unit 1
6月	Unit 2 Club Activities	[L]会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 [SI]好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。	学校	話し掛ける, 礼を言う, 説明, 質問, 命令	Are you ~? Do you ~? Can you ~?	8	5年 Unit 1, 4, 5 6年 Unit 9
	Unit 3 Enjoy the Summer	[L]インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 [SI]夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。	地域の行事	相づち, 苦情, 説明, 意見, 質問	What do you ~? I like dancing. I want to ~.	8	3年 Unit 5 5年 Unit 2, 3, 6 6年 Unit 3, 9
7月	World Tour 1 世界の中学生	[L]世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知ろう	自己紹介	話し掛ける, 質問	How many ~?	1	3年 Unit 3 4年 Unit 1 5年 Unit 3

	Active Grammar 1	自分と相手のことを伝える言い方を整理しよう			am, are / 一般動詞 / can	2	
	You Can Do It! 1	[R][SP]自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	自己紹介	説明	既習の表現	2	
9月	Unit 4 Our New Friend	[L]人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 [SP]身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。	学校	相づち, 褒める, 説明, 質問	He is ~. / She is ~. Who is ~? Is he ~? / He isn't ~.	9	5年 Unit 3, 9 6年 Unit 5
10月	Unit 5 This Is Our School	[R]学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 [SI]お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。	学校	相づち, 褒める, 説明, 意見, 質問	Where is ~? Watch your step. When is ~?	9	4年 Unit 8 5年 Unit 2, 8 6年 Unit 6
	Daily Life 2 落とし物	[SI]落とし物の持ち主を探すやり取りができる。	学校	聞き直す, 質問	Whose ~?	1	
	Active Grammar 2	人や物事の代わりにする言葉を整理しよう			代名詞	1	
11月	Unit 6 Cheer Up, Tina	[R]紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 [W]身近な人の基本的な情報を伝える, 紹介文を書くことができる。	家庭	相づち, 謝る, 説明, 質問	She likes ~. Does she ~? She doesn't ~.	9	
	Active Grammar 3	自分と相手以外のことを伝える言い方を整理しよう			is / 3人称単数現在形	1	
	Daily Life 3 カフェ	[SI]飲食店で、注文をするやり取りができる。	食事	質問, 依頼	Which ~? How much ~?	1	5年 Unit 7
12月	World Tour 2 世界の時刻	[L]日本と世界の時差について知ろう			What time ~?	1	4年 Unit 4 5年 Unit 4
	Active Grammar 4	yes や no では答えられない疑問文を整理しよう			疑問詞	1	
	Let's Read 1 What Am I?	[R]説明文から、“I”についての情報を読み取ることができる。			既習の表現	1	
	You Can Do It! 2	[L][SP]「ドリームファミリー」を紹介しよう	学校	説明	既習の表現	2	
1月	Unit 7 New Year Holidays in Japan	[R]はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 [W]冬休みの出来事や感想などを伝える, はがきを書くことができる。	地域の行事, はがき	聞き直す, 褒める, 説明, 意見, 質問	I went ~. Did you ~? It was ~.	10	6年 Unit 4, 7
2月	Active Grammar 5	過去の出来事や状態などを伝える言い方を整理しよう			動詞の過去形	1	
	Daily Life 4 ウェブサイト	[R]ウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。		説明	既習の表現	1	

	Unit 8 Getting Ready for the Party	[L]写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 [W]写真に、状況を説明するキャプションを書くことができる。	家庭、 電話	相づち、礼を言う、 描写、意見、質問	I am baking ~. Are you baking ~? It looks ~.	9	
	Active Grammar 6	している最中のことを伝える言い方を整理しよう			現在進行形	1	
	Daily Life 5 ラジオの 中継	[L]ラジオの中継から、現地の様子を聞き取ることができる。		描写、報告	既習の表現	1	
	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	[R]物語から、あらすじを読み取ることができる。			既習の表現	2	
3 月	You Can Do It! 3	[R][SP]学校行事の紹介ページを作ろう	学校	説明、質問	既習の表現	2	6年 Unit 2, 7
	Let's Read More My Japanese Lessons	[R]レポートから、筆者の体験に基づく感想などを読み取ることができる。		報告	既習の表現	(2)	
帯	Sounds and Letters	[R]文字を正しく読むことができる。			発音とつづり		5-6年 Sounds and Letters
帯	Story Retelling	[SP]ストーリーについて、簡単な語句や文を使い、その場で話すことができる。		説明、描写	既習の表現		
帯	Let's Talk!	[SI]自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。		説明、質問	既習の表現		
帯	Active Words	自分が言いたいことを伝えるための語彙を探して活用しよう			カテゴリー別語彙		

教科の目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
評価の観点	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
	<p>②思考・判断・表現</p> <p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>
	<p>③主体的に音楽に取り組む態度</p> <p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価資料	実技テスト(歌唱、器楽)、ワークシート(歌唱、器楽、創作、鑑賞)、学習カード、提出物、定期テスト、授業中の活動の観察

時期	題材名	学習内容	観点	評価規準	評価場面・方法
4月 5月 6月 7月	新しい仲間とともに明るい声で歌おう	歌唱	①②③	<p>① 知識・技能</p> <p><歌唱></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。 <p><器楽></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。 <p><創作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音のつながり方の特徴について理解している。 ・音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構造上の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言内容 ・ワークシート ・演奏の聴取 ・実技テスト ・定期テスト
	曲の構成を感じ取って表現を工夫しよう	歌唱	①②③		
	リコーダー演奏	器楽	①②③		
	イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう	鑑賞	①②③		
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう	鑑賞	①②③		
	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	創作	①②③		

時期	題 材 名	学習内容	観点	評価規準	評価場面・方法
8月 9月 10月 11月 12月	旋律の特徴や強弱の変化に 気をつけ、情景を思い浮か べながら歌おう パートの役割を感じ取っ て、表現を工夫しよう 箏の魅力 リコーダー演奏 詩の内容や音楽の特徴との 関わりを感じ取り、場面を 想像しながら聴こう 日本の和楽器の音色に親し もう 音のつながり方の特徴を生 かして、創作表現を工夫し よう	歌唱 歌唱 器楽 器楽 鑑賞 鑑賞 創作	①②③ ①②③ ①②③ ①②③ ①②③ ①②③	<p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 <p>② 思考・判断・表現</p> <p><歌唱・器楽・創作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱、器楽、創作表現を創意工夫している。 <p><鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発言内容 ・ワークシート ・演奏の聴取 ・実技テスト ・定期テスト
1月 2月 3月	日本の歌のよさや美しさを 感じ取って、思いをこめて 歌おう 仲間とともに、表情豊かに 合唱しよう 日本に古くから伝わる合奏 を聴こう 日本の民謡やアジアの諸民 族の音楽の特徴を感じ取っ て聴こう リコーダー演奏	歌唱 歌唱 鑑賞 鑑賞 器楽	①②③ ①②③ ①②③ ①②③ ①②③	<ul style="list-style-type: none"> ・(上記下線部と同様)、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ・(上記下線部と同様)、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 <p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p><歌唱・器楽・創作・鑑賞></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	

2024年度 1年生 年間指導計画 【美術】

教科の目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになる。 (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。
評価の観点	① 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。意図に応じて表現方法を工夫して表している。
	② 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。
	③ 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価資料	授業の準備、表現や鑑賞の活動の様子、ワークシート、作品、定期考査

時期	単元	学習内容	観点	学習目標（評価基準）	評価場面・方法
4月 5月	デザイン	A 表現 (1)イ(2)	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	授業の準備 表現の活動の様子 ワークシート 作品 定期考査
6月 7月	デザイン	A 表現 (1)イ(2)	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	授業の準備 表現の活動の様子 ワークシート 作品 定期考査
8月 9月	絵画	A 表現 (1)ア(2)	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	授業の準備 表現の活動の様子 ワークシート 作品 定期考査
10月 11月 12月	彫塑	A 表現 (1)ア(2)	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	授業の準備 表現の活動の様子 ワークシート 作品 定期考査
1月 2月 3月	版画	A 表現 (1)ア(2)	①②③	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと。 	授業の準備 表現の活動の様子 ワークシート 作品 定期考査
備考 適宜	鑑賞	B 鑑賞 (1)アイ	①③	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。 	ワークシート 定期考査

2024年度 1年生 年間指導計画 【保健体育】

教科の目標	<p>○体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することをめざす。</p> <p>【体育分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。 <p>【保健分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人生活における健康や安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯を通じて心身の健康の保持増進をめざし、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 		
評価の観点	<p>1. 【知識・技能】</p> <p>各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>2. 【思考・判断・表現】</p> <p>運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。</p>	<p>3. 【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。</p>
評価資料	○授業に取り組む姿勢（欠席、遅刻、授業態度、忘れ物等） ○提出物 ○実技テスト ○定期考査		

時期	単元	学習内容	観点	学習目標（評価規準）	評価場面・方法
4 5	集団行動 (男女) 体づくり運動 (男女)	基本動作 ラジオ体操第一 スポーツテスト	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・号令に応じて自らで判断し、機敏かつ的確に行動できるようにする。 ・決まりを理解し、能率よく行動できるようにする。 ・自らの運動能力を把握し、普段の日常生活で生かせるようにする。 ・積極的に参加し、体力の向上や記録の更新をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物 ・提出物 ・実技テスト ・定期考査
5 6	ソフトボール (男子) 器械運動 [マット](女子)	送球、捕球、打撃、走塁などの技術の習得 前転、後転、倒立、開脚前転、開脚後転、伸膝後転などの技の習得		<ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方などを理解し、安全に配慮して活動することができる。 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 ・技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助することができる。 	
6 7 8	水泳 (男女)	クロール 平泳ぎ		<ul style="list-style-type: none"> ・手と足の動き、呼吸のバランスなどの基本的な泳ぎ方を身につけ、クロールは速く泳ぎ、平泳ぎは長く泳ぐことができる。 ・自分の目標タイムを意識して泳ぐことができる。 	
9	器械運動 [マット](男子)	前転、後転、倒立、開脚前転、開脚後転、伸膝後転などの技の習得		<ul style="list-style-type: none"> ・技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加

9	ソフトボール (女子)	送球、捕球、打撃、走塁などの技術の習得	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方などを理解し、安全に配慮して活動することができる。 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・忘れ物 ・提出物 ・実技テスト ・定期考査
10	柔道 (男女)	礼法、受け身、固め技などの技の習得		<ul style="list-style-type: none"> ・武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方について理解している。 ・それぞれの受け身、固め技の方法を正しく理解し、相手・自分ともに安全に取り組めるようにする。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする態度を身につける。 	
11	アルティメット (男子) ハンドボール (女子)	パス、キャッチなどの技術の習得 ゲーム パスやシュートなどの技術の習得 ミニゲーム		<ul style="list-style-type: none"> ・パスやキャッチなどの基本的な技術を習得し、ゲームに生かすことができる。 ・互いに協力して練習やゲームを行うとともに、ルールやマナーを守り安全に留意して活動できる。 ・ハンドボールの基本的技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開できるようにする。 ・互いに協力して練習やゲームを行うとともに、ルールやマナーを守り安全に留意して活動できる。 	
12 1	陸上競技 [中・長距離走] (男女)	1500mの測定		<ul style="list-style-type: none"> ・目標タイムを達成するペース配分を自己の技能・体力に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して走ることができる。 ・自己の目標を設定し、記録の向上に挑戦する態度を養う。 	
2 3	ダンス (男女)	グループによる創作ダンス		<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間と協力してダンスを創作し、踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物
通年	体育理論	スポーツの多様性		<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの多様性について理解している。 ・運動やスポーツの多様性について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しているとともに、他者に伝えている。 ・運動やスポーツの多様性についての学習に積極的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の参加 ・授業態度 ・忘れ物 ・提出物 ・定期考査
通年	保健	健康な生活と病気の予防① 心身の発達と心の健康		<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防について理解している。 ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ・心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付けている。 ・心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。 	

2024 年度 1 年生 年間指導計画 【技術】

教科の目標	技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	知識・技能 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報等の技術についての基礎的な理解と技能及び、技術と生活や社会との関わりの理解。
	思考・判断・表現 生活や社会の中から技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力。
	主体的に学びに向かう態度 よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度。

時期	単元	学習内容	学習目標（評価規準）	評価
4月 5月 6月 7月	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 身の回りの材料と加工の技術 木材・金属・プラスチックの特性 材料に適した加工方法 丈夫な製品を作るために 材料と加工の技術の工夫を読み取ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会を支えているさまざまな技術に関心を持つとともに、3学年間の技術分野の学習の見通しを立てる 身の回りの製品に使われている材料と加工の技術を調べ、まとめることができる。 木材・金属・プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解する。 目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。 構造と部材を丈夫にする方法について理解する。 身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む姿勢 授業ファイル 授業プリント 定期考査 提出物
	材料と加工の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決し、課題を設定しよう 製作品の構想し、設計しよう 製作の計画を立てよう 作業手順を考えて製作 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。 製作に必要な図の描き方を理解し、図を表す頃ができる。 材料の選択や成形の方法などを構想して設計を具体化することができる。 構想に基づいて、製作の計画を立てることができる。 安全・適切な製作や検査・修正ができる。 	
8月 9月 10月 11月 12月 1月	材料と加工の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 作業の手順を考えて製作 問題解決の評価、改善・修正 材料と加工の技術の最適化 材料と加工の技術 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・適切な製作や検査・修正ができる。 製作の過程について考えることができる。 製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えることができる。 材料と加工の技術の最適化について考えることができる。 金属・プラスチックの特性について プラスチックの基本的な特徴を調べ、その特徴をいかした利用方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む姿勢 授業ファイル 授業プリント 夏休みの宿題 定期考査 実習物 提出物
2月 3月	情報の技術の原理・法則と仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術とは コンピュータの使い方 文字入力の方法 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の表現や記録ができる仕組みを理解する。 情報の技術によって生活や社会がどのように変化したかを考えることができる。 コンピュータの基本的な使い方を知る。 文字入力の方法を知る。 	

教科の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	(知識・技能) 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	(思考・判断・表現) これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から課題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	(主体的に学習に取り組む態度) 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価資料	授業に取り組む態度、実習物、作品、提出物、レポート、授業プリント、振り返りシート、定期テスト

時期	単元	学習内容	観点	学習目標 (評価規準)	評価方法
4 5 6 7	A 家族・家庭生活 1. 自分の成長と家族・家庭生活	①今の自分とこれまで ②わたしの生活と家族・家庭 ③家庭を支える社会 ④中学生にとっての家族	主体的に学習に取り組む態度、 思考・判断・表現、 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校家庭科の学習を振り返るとともに、3年間の学習内容の見直しをもつ。 ・各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。 ・自分の成長と家族や地域の人々との関わりと自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。 	授業に取り組む態度、 実習物、 作品、 レポート、 提出物、 授業プリント、 振り返りシート、 定期テスト
	B 衣生活 1. 目的に応じた衣服の選択	①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択		<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。 ・既制服を選ぶポイントがわかる。 	
8 9 10 11 12	3. 生活を豊かにするものの製作 2. 日常着の手入れと保管	①布による作品で生活を演出 ②製作の基礎・基本 ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管	主体的に学習に取り組む態度、 思考・判断・表現、 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の計画を立て、目的に応じた縫い方で生活を豊かにするものをつくる。 ・安全で能率よく、時間内に製作する。 ・製作手順を理解し、意欲的に実習を行っている。 ・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・取扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ・衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ・衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。 	

	4.持続可能な衣生活	①持続可能な衣生活をめざして		・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。	
1 2 3	3.生活を豊かにするものの製作	①布による作品で生活を演出 ②製作の基礎・基本	主体的に学びに向かう態度、思考・判断・表現、知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ・製作の計画を立て、ミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。 ・安全で能率よく、時間内にトートバッグを製作する ・製作手順を理解し、意欲的に実習を行っている。 	